

	整理番号	出願番号 公開番号 登録番号	発明の名称	発明の概要
1	弘出願 04-001	2005-2336 2006-189359 4599555	低分子RNA種発現比較システム	50nt以下の低分子RNAを簡便に再現性よく分離することができる二次元電気泳動法を用いた、分析方法に関する発明。
2	弘出願 04-007	2004-264415 2006-076960 4437225	ニンニク由来の抗菌性物質およびその製造方法	ニンニクの皮から、植物炭素病などに有効な抗菌性物を製造する方法、及びその新規な抗菌性物質に関する発明。七戸町ドラキュラで町おこし。
3	弘出願 04-012	2005-059657 2006-241080 5023317	IV型アレルギー反応抑制剤	トリプタントリンのIV型アレルギー反応抑制作用に基づいて、接触性皮膚炎などのIV型アレルギー反応が関与する皮膚炎に対する予防治療剤に関する発明。
4	弘出願 04-014	2005-179258 2006-350916 4110252	表示装置および基本色生成方法	通常の道路交通信号の形状を変えることなく、色覚異常者も正常な色覚を有する者も共に容易に弁別することができ、製造コストの増加を抑えることができると共に、第一色覚異常者ないし第三色覚異常者にとっても誤認を軽減することができる道路交通信号灯若しくは他の表示装置等又は基本色生成方法に関する発明。
5	弘出願 04-017	2005-060014 2006-239602 4171806	果実そ菜類の等級判別方法	2次元特徴量を用いた、人間の目による判断に代替できる、りんごやトマトなどの果実そ菜類の等級判別方法に関する発明。
6	弘出願 04-019	2005-187157 2007-001955 4997492	4-アルキルウンベリフェロンの新規医薬用途	4-メチルウンベリフェロン (4-Methylumbelliferon:MU) に代表される4-アルキルウンベリフェロンのHAS2遺伝子発現抑制剤, HYAL1遺伝子発現抑制剤, MMP-9遺伝子発現抑制剤としての新規医薬用途に関する発明。
7	弘出願 04-021	2005-239025 2007-050494 4686718	マイクロマシン	強磁性計上記憶合金により形成されたマイクロマシンに関し、特に、患者の肉体的精神的苦痛を軽減する低侵襲型治療、各種産業設備またはプラント等における高度メンテナンス技術の非破壊検査可能な自走式マイクロマシン等に関する発明。
8	弘出願 05-004	2005-238855 2007-049961 4815587	リンゴ果実の収穫時期の判定方法	リンゴのACS遺伝子であるMd ACS3aのプロモーター領域の機能発現タイミングを指標にして、簡便かつ精度よく適切なリンゴ果実の収穫時期を判定する方法に関する発明。
9	弘出願 05-006	2005-274942 2007-083339 4797164	開閉型工具用自動開閉構造	ロボットハンドにおいて、人間が使用するペンチ、ニッパ、プライヤー、はさみなど開閉型の様々な道具、工具を一つのハンドで利用することができ、かつそれをより簡素な機構によって低コストに実現できる開閉型工業用自動開閉構造に関する発明。
10	弘出願 05-010	2005-251980 2007-063193 4997494	ヒアルロン酸合成阻害剤	4-メチルウンベリフェロン (4-Methylumbelliferone:MU)
11	弘出願 05-021	2006-031618 2007-212252 4815589	膀胱癌の悪性度の検査方法	膀胱癌組織に発現している特定のN型糖鎖の発現分布を膀胱正常上皮組織における発現分布と比較し、癌の再発や転移の危険性、予後の世族を客観的・定量的に行える膀胱癌の悪性度診断方法に関する発明。
12	弘出願 05-025	2006-086095 2007-262595 4892679	ゲル紡糸によるヒアルロン酸繊維およびその製造方法	生体適合性素材であるヒアルロン酸のゲルを用いて、医用材料として十分な安全性と強度を備え、単一極細繊維として連続調整可能な、ヒアルロン酸繊維及びその製造方法に関し、また、本発明は高強度繊維の製造法に関する発明。

13	弘出願 05-027	2006-054586 2007-228883 4852750	植物組織培養による抗がん剤の合成	プレニルアルコールの存在下でカボチャのカルスを好氣的条件下で培養し、培養物から対応するプレニルカルボン酸を採取することを特徴とするプレニルカルボン酸の製造方法に関する発明。
14	弘出願 05-034	2006-194836 2008-019150 4956740	ウラン回収方法	炭酸ウランイオンを含む溶液中のウランを回収するウラン回収方法に関し、特に、海水中のウランを回収するウラン回収方法に関する発明。
15	PA06-02	2007-51962 2008-212299 5055546	血漿交換・廃液浄化循環透析システム	血漿交換に引き続き、血漿交換によって分離された血漿を安全かつ簡便に効率よく浄化し、これを透析液として循環利用できるようにした血漿交換・廃液浄化循環透析システムに関する発明。
16	PA06-03	2006-317877 2008-126219 5070542	塗布システム	表面に凹凸のある対象物、例えば人間等の皮膚に薬剤を塗布する専用の塗布機構を実現する場合、高価なシステムを用いて対象物の形状を事前に高い精度で測定する必要がなく、対象物の動きおよび事前に検出できないような微細な凹凸に対し、安価で素早い応答特性を有する塗布システムに関する発明。
17	PA06-05	2006-338914 2008-150464 4982852	コア物質への糖鎖付加方法	グリコサミノグリカン糖鎖などの糖鎖をコアタンパク質などのコア物質に、その水溶性に左右されることなく高効率的に付加する方法に関する発明。
18	PA07-12	2008-133815 2009-278907 5470612	糖鎖改変方法および糖鎖改変装置糖鎖改変方法	酵素学的手法による糖鎖改変方法において、反応に用いたグリコシダーゼの混入がない生成物を得るための方法であり、グリコサミノグリカンおよび／またはプロテオグリカンを含む水溶液をグリコシダーゼ固定化カラムに通液し、グリコシダーゼの作用に基づく糖鎖の加水分解反応および／または糖転移反応をカラム内で行うことにより糖鎖を改変する発明。
19	PA08-12	2008-283978 2010-110399 5421571	歩行特性評価システムおよび軌跡生成方法	歩行が困難な患者などにおける種々の3次元歩行特性を、どこでも無拘束で長時間測定して導出することができ、医師などの診断に必要な情報を十分に提示することのできる歩行特性評価システムに関する発明。
20	PA08-27	2009-109756 2010-254653 5678397	プロテオグリカンの新規な医薬用途	T h 1 7 細胞が病態形成に関与する多発性硬化症や炎症性腸疾患（クローン病、潰瘍性大腸炎）などに対して有効に作用する、サケ、サメ、ウシ、クジラなどの軟骨を原材料にして精製されたプロテオグリカンを有効成分とするT h 1 7 細胞の分化誘導抑制剤に関する発明。
21	PA08-29	2009-96311 2010-248086 5448046	トリプタンスリン誘導体	蛍光材料やF R E T型化学センサー素材などとして有用な新規なトリプタンスリン誘導体に関する発明。
22	PA09-02	2009-181976 2011-032242 5685751	結膜下線維芽細胞増殖抑制剤および結膜下線維芽細胞増殖抑制方法	安全かつ効果的に、眼科手術後における結膜癒着や結膜下組織瘢痕形成を抑制することの可能な、トレハロースを用いた結膜下線維芽細胞増殖抑制剤に関する発明。
23	PA09-31	2010-128075 2011-252115 5610428	ハイブリッド糖鎖の製造方法	計画的なデザインのもとで行う、ヒアルロン酸、コンドロイチン、コンドロイチン硫酸から選択される複数種類の糖鎖の構成糖からなるハイブリッド糖鎖の製造方法に関する発明。
24	PA12-06	2012-196584 2014-053432 6090975	熱電半導体装置の熱電能向上方法および熱電能試験方法	半導体薄膜において、EMの導入により保護膜の有無によって熱電材料内部の応力状態が変化し熱電効果に影響を与えることを確認することにより、熱電半導体装置の発電能力を向上させる熱電能向上方法等に関する発明。
25	PA12-07	2012-196681 2014-052832 6044926	ビア接続の多層配線の信頼性を評価する信頼性評価シミュレーションプログラム、ビア接続の多層配線の許容電流密度向上方法およびビア接続の多層配線	リザーバ構造を有するビア接続の多層配線について、EM損傷過程の数値シミュレーションを実施しリザーバ効果を考慮しつつ電流密度を評価することにより配線の信頼性を評価するシミュレーション方法等に関する発明。

26	PA12-12	2012-250880 2014-097958 6150374	放射線被ばく治療剤及び放射線被ばく治療方法	抗体を除くトロンボポイエチン受容体作動薬を含有し、放射線被ばくによる障害臓器を再生する放射線被ばく治療剤に関する発明。
27	PA13-27	2015-41401 2016-160226 6501350	動物の軟骨からプロテオグリカンを調製する方法	調製の途中でのプロテオグリカンの分解や変性を抑制するとともに、夾雑タンパク質の混入を抑制して、動物の軟骨からプロテオグリカンを効率的に調製する方法に関する発明。
28	PA15-10	2016-013827 2017-134611 6694636	火炎検出センサ及び火炎検出方法	火災発生現場で、火炎が煙に包まれ、可視光や赤外線などの電磁波ではその有無を正確に検出することができない場合でも、音波を利用して簡易に、音波の発信方向に火炎が存在するか否かを検出することができる火炎検出センサに関する発明。
29	PA15-03	2015-212047 2017-081851 6562416	血管新生阻害剤	天然由来の物質を有効成分とする血管新生阻害剤を提供することを課題とし、サケ軟骨に含まれるプロテオグリカンやその酵素分解産物を有効成分とする血管新生阻害剤に関する発明。
30	PA17-06	2017-154009 2019-030570 6532042	自動注射装置	簡易な手法で、対象物の3次元位置を高精度に算出する位置推定装置に関する発明。
31	PCT11-001JP	2012-547865 W02012/077664 6024901	植物の形質転換個体の取得方法	転写型遺伝子サイレンシングを発動させるための s i R N A を用い、台木と穂木の接ぎ木を介して植物の形質転換を行う方法に関する発明。
32	PCT13-017JP	2014-545744 W02014/073595 6202536	種子を利用した接ぎ木による農作物の栽培方法	イネ、コムギ、トウモロコシなどの禾本科や、ダイズなどの農作物に対しても有効な接ぎ木技術を提供することを課題とし、乾燥種子の幼根を接ぎ木が成立する別の種子の幼根に置き換えた後、発芽させることを特徴とする農作物の栽培方法。
33	PA11-11	2012-156732 2014-020596 6168644	氷スラリー製造装置および氷スラリー製造方法	製造に大きな動力と定期的なメンテナンスとが不要で、小型化が容易であり、高精度の温度制御技術が不要であって、生体組織に直接接触するような医療分野への応用が容易であり、低濃度水溶液(例えば、1 w t % 以下の低塩分濃度)又は真水を用いた氷スラリーを生成できる氷スラリー製造装置等に関する発明。製造に大きな動力と定期的なメンテナンスとが不要で、小型化が容易であり、高精度の温度制御技術が不要であって、生体組織に直接接触するような医療分野への応用が容易であり、低濃度水溶液(例えば、1 w t % 以下の低塩分濃度)又は真水を用いた氷スラリーを生成できる氷スラリー製造装置等を提供する
34	PA17-03	2017-204738 2014-020596 6933340	流量計監視装置および流量計監視方法	量計測監視装置および流量計監視方法に係り、特に、医療機関における酸素流量計など、流量の監視・管理が重要な分野における流量計監視装置等に関する発明。
35	PA18-24	2019-046802 2020-147530	エストロゲン様作用剤、食品組成物および皮膚外用剤	天然物由来の成分の中からエストロゲン様作用を有するものを見出し、それを有効成分とするエストロゲン様作用剤、食品組成物または皮膚外用剤を提供することに関する発明。
36	PA18-41	2019-069535 2020-162571	軟骨再生促進剤、食品組成物および皮膚外用剤	魚類軟骨プロテオグリカンを実効成分とすることを特徴とする軟骨細胞活性化剤、軟骨細胞増殖促進剤、酸性粘液多糖類産生促進剤、および軟骨再生促進剤に関する発明。